

R7年度 コドモワカモノボイスアクション事業について

1 事業目的(ねらい)

○市職員や教員をはじめ、こども・若者に関わる大人が、こども・若者の意見表明・意見反映に係る権利の意義や重要性について理解を深める。

- ・こども・若者の意見聴取・意見反映に係る研修素材の作成及び研修の実施
⇒オンライン形式での実施、研修動画のアーカイブ化

○より多くのこども・若者が意見表明することができる機会を提供する。

- ・オンラインプラットフォームの提供により、多くのこども・若者の参画を促進
⇒教育現場(授業、生徒会活動等)での活用
⇒地域でのイベントや事業の企画等での活用
⇒Up to You との連携

○市がこども・若者から意見を聴取し、施策に反映していく。

- ・オンラインプラットフォームの提供により、多くのこども・若者の参画を促進
⇒市職員、教員への研修(操作研修や企画等への参画)
⇒市職員の事業所管課としてのワークショップ等への参画による施策への連携

2 R7 年度 of 取組(予定を含む。)

① 研修・啓発

- ・こども・若者の意見聴取・意見反映に係る研修素材の作成及び研修の実施

研修日程 8月1日(金) 9:30-11:00

形式 ZOOM によるオンライン形式(アーカイブ配信有)

研修内容

テーマ	講師
市がこども・若者の「意見」に期待すること	松本市長
こどもの権利について ～なぜ、こども・若者から意見聴取をするのか?～	子どものための権利擁護委員会 曾我委員長
ユースカウンスルの取組について	尼崎市立ユース交流センター 片岡統括責任者
オンラインプラットフォームの活用について	(株)Liquitous(リキタス) 栗本代表取締役 CEO

- ・オンラインプラットフォームの職員向け操作・活用の研修
⇒オンラインプラットフォームの操作方法や活用方法について、庁内で活用を検討している職員に向けた研修の適宜実施(7/14 実施済み)

- ・関係団体や地域等のこども・若者に関わる大人への啓発
⇒関係団体(こども食堂、居場所、保育園等)や地域等への啓発
公開のまとめ HP を作成し、研修動画等を公表

② オンラインプラットフォームの運用

- ・こども・若者が意見をしやすいテーマを常時トークルームに設定
⇒オンラインプラットフォーム登録者の増に向けた、SNS 等での告知
- ・ワークショップの開催
⇒ユース交流センターで年2回程度開催予定(9月/12月)
- ・地域課等との連携
⇒地域課長会での事業概要の説明、地域課事業での協力依頼(7/8 実施済み)

③ 教育委員会との連携

- ・オンラインプラットフォームの有効活用には、学校現場の理解・協力が不可欠
- ・教員向けの研修の実施に向けた調整
⇒教員向け研修「子ども理解のための研修講座 ユースワークから学ぶ子ども
若者へのアプローチ ～意見表明権の実践編～」の実施(オンラインプラットフォームの授業での活用方法等についての紹介)
⇒研修受講教員の協力のもと、授業での実践やワークショップの実施など、
オンラインプラットフォームの活用を推進
- ・上記取組で実績を重ねながら、GIGA 端末へのインストールについても協議

3 次年度の取組

今年度着手した基本的な事業の枠組みを継続しつつ、

- ・異なった対象者、アップデートした内容の研修を継続的に実施
- ・まとめ HP の内容、素材の充実
- ・ユースカウンスルでの利活用
- ・あま咲きコインを活用した利用促進の検討

以 上

.